2014.11
No.29

佐賀大学病院ニュース

患者・医師に選ばれる病院を目指して　News & View

〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号　TEL 0952-31-6511(代)　病院ホームページ http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/

全国初！ロボットリハ外来をスタートしました

先進総合機能回復センター
診療教授　浅見　豊子

当センターにおきましては、2001年から上肢切断者に対する筋電義手のリハビリテーション（リハ）を全国でも先駆けて開始いたしましたが、現在では成人だけではなく小児の筋電義手使用例もでてきています。また、2011年からはロボットスーツHALを導入したリハをスタートし、その後はHondaアシスト、NESS200、ウオークエイドなどの種々のロボットを活用したリハ（ロボットリハ）を行っています。さらに、これらロボットリハに磁気刺激療法やボツリヌス療法なども併用することにより、これまで難しかった機能障害の改善を目指した先進的なリハを現在行っています。そのため、本治療を希望する方は県外からも来られ、患者数は現在増加している状況にあります。今年度内には全国で臨床使用が開始される九州では初の使用になるトヨタのパートナーロボットによるリハも開始予定であり、このように多くのロボットを備えてリハを行っている施設は現時点では他にはありません。そこで、このようなロボットリハにより、質の高いリハ治療を多くの方に受けていただくために、全国初となる「ロボットリハ外来」を本年10月1日よりスタートいたしました。まずは予約による診察を行い、ロボットリハの適応となる場合は外来にて専任の理学療法士がリハを行うことになります。脳卒中の片麻痺例、種々の疾患による歩行障害例を中心に対応させていただく予定です。今後もよりよいリハ医療を提供できるよう尽力してまいりたいと思います。

NESS200（上肢用）

ロボットスーツ HAL

TOYOTA パートナーロボット
歩行練習アシスト

Honda アシスト
歩行解析の様子

「医学のあけぼのから先端医療まで」展のお知らせ

展示内容一例　※期間中、一部の展示内容が変更になります。

解体新書

江戸の杉田玄白らが安永3年（1774）に刊行した解剖書。我が国に医療のあけぼのをもたらした。

ダビンチ

「より正確な動きができ、より綺麗にリアルに見える内視鏡外科手術を可能にする手術支援ロボットダヴィンチ」

大腸トンネル

「大腸トンネル探検隊」は、大腸をイメージした送風式バルーン型トンネルです。トンネルの内側に病変イラストが貼り付けてあり、探検しながら大腸の病気を学ぶことが出来ます。

日時
【第1期】平成26年 12月13日(土)～平成26年 12月26日(金)
【第2期】平成27年 1月6日(火)～平成27年 1月12日(月)
10:00～17:00 休館日/月曜日 ※月曜日が休日の場合は翌日　※期間中、一部の展示内容が変更になります。

会場 佐賀大学美術館 佐賀市本庄町1番地

入場料 500円 高校生以下及び障害者の方/無料 ※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に障害者手帳をご提示ください。

主催 サガテレビ　国立大学法人佐賀大学　**共催** 佐賀県医師会

ご挨拶

佐賀藩は近代医学の黎明期において日本をリードし、西洋医学をとりいれた先端医療を行っていました。その医療が今日どれだけ進歩したかを可視化するというのが今回の「医学のあけぼのから先端医療まで」展の目的です。実際に佐賀大学病院で行われている先端医療の300年の進歩をご覧頂き、実感していただければ幸いです。

佐賀大学医療担当理事
佐賀大学美術館長
宮崎　耕治

佐賀Mircaカードの発行のご案内

佐賀ミルカ　Saga Mirca　サービスのご案内

本院では、患者さんの健康管理に役立てるために、患者さんご自身の診療記録の一部を、診療記録確認アプリを利用することで閲覧可能なサービスを開始いたしました。

ご家族や、介護・看護をされる方などに“ご自身の診療記録”を「見せる」ことで、健康状態に関する理解・協力を得て、療養生活に役立てたり、お出かけ先で初めて行く病院でも、“ご自身の診療記録”を「見せる」ことで、過去の病歴や処方薬等を伝えることに活用頂ければと考えております。

カード発行は無料となっておりますので、詳しくは外来受付の佐賀 Mirca ブースにお立ち寄りください。

マスコットキャラクター
「ミルにゃん」

App Store からダウンロード　アップルストアからダウンロードできます

インターネット会議システムによる佐賀遠隔外科カンファレンスについて

一般・消化器外科
教授　能城　浩和

本院一般・消化器外科では、地域の病院で行われた手術ビデオを見ながら、技術指導やアドバイスを行うビデオカンファレンスをインターネット遠隔会議システムで実施しています。

大学病院は、患者さんを直接診療することだけでなく、地域の医療機関の医療従事者に対する教育や技術指導等を通じて、全体の医療水準の向上に貢献するという使命があります。

このビデオカンファレンスには、手術を実施した病院の医師だけでなく、関連する領域の手術を行っている県内及び福岡県の病院の医師も各施設からオンラインで参加し、ディスカッションを行っています。これにより、手術を行った医師だけでなく全体の技術の向上につながると期待されています。

本院の指導医が、手術ビデオの進行に合わせて、注意すべき点などをビデオ画面に直接ペンでマークを書き込みながら指導できます。これは他の遠隔会議にはない優れた特徴の一つです。

また、医師はそれぞれの病院内からオンラインで参加しているので、日常の診療業務への影響も最小限にすることが可能です。急患が発生した場合も、医師は病院内にいるので、平常通りすぐに対応が可能です。

この取り組みを通じて、地域医療のさらなる充実に取り組んでいきたいと考えています。

診療科紹介
産科婦人科

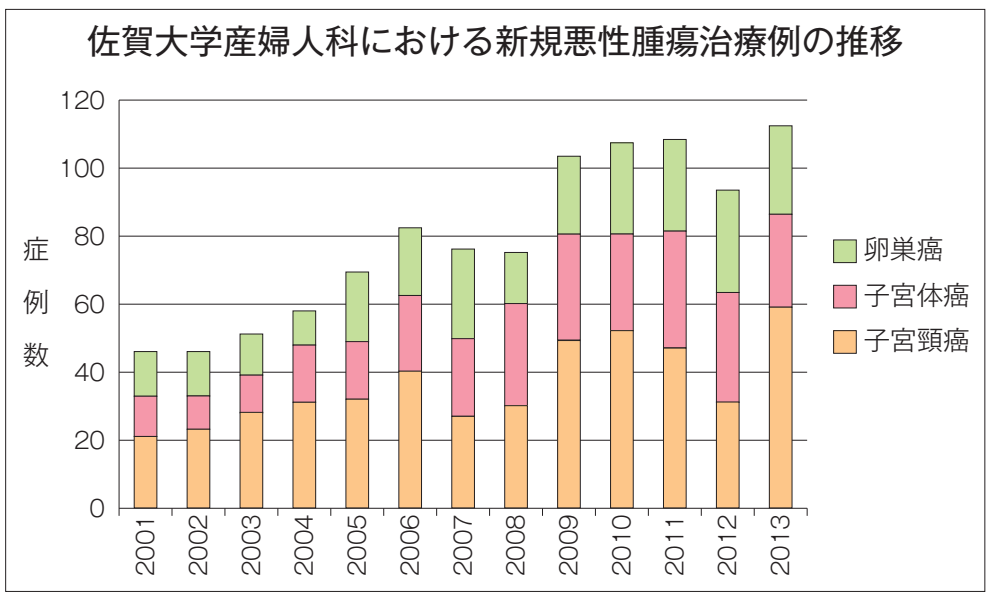
診療科長　横山　正俊

当科は、県内の産婦人科医療の中心的役割を担っています。県内のほとんどの基幹病院は大学からの派遣医師で構成されており、少ない医師数の中、連携をとりつつ効率のよい医療を行っています。

周産期領域においては各基幹病院が連携を行い、佐賀県周産期医療ネットワークを構築しており、佐賀県では良好な周産期死亡率の低さを維持しています。大学では妊娠28週以降の早産例や合併症妊娠、産科危機的出血など、他の基幹病院でも対応困難な症例にＮＩＣＵをはじめ他科のスタッフとも協力して対応しています。ドクターヘリが導入されたこともあり、今後は遠隔地からの緊急搬送の増加が予想されます。もちろん、正常分娩も行っており、学生や若手医師の教育も行っています。

婦人科領域、特に悪性腫瘍においては県内唯一の日本婦人科腫瘍学会指定修練施設として、県内の婦人科悪性腫瘍の診療の中心施設として機能しています。県内の婦人科悪性腫瘍患者の大学への集約化が進み、現在年間１００例を超える悪性腫瘍の新規患者を受け入れており、10年前の倍以上になっています。２名の婦人科悪性腫瘍専門医を中心に、手術だけでなく化学療法、放射線療法、化学放射線療法などを組み合わせた集学的治療を行っています。化学療法においてはがん薬物療法専門医をスタッフに迎え、そのほとんどを外来で行っています。また、３名の細胞診専門医がおり、院内だけでなく院外症例の細胞診業務も行っています。良性疾患においてはできるだけ腹腔鏡下手術を行い、若手医師の研修にも配慮しています。なお、生殖内分泌領域は高邦会高木病院（福岡県大川市）にスタッフを配し、連携をとりつつ基本的な不妊検査から高度生殖医療まで行っています。

今後も、基幹病院はもとより地域の産婦人科の先生と協力して、県内の産婦人科医療の向上に努めてまいりますのでよろしくお願いします。



第３回多数傷病者発生を想定した災害訓練のご報告

災害対策室長　山下　秀一

多数傷病者発生を想定した災害訓練の机上訓練を８月27日（水）に、実働訓練を９月13日（土）に行いました。机上訓練は本学教職員約１１０名、実働訓練は本学教職員約２００名、模擬患者として本学学生19名、研修医８名、その他佐賀市広域消防局の方々を含め総勢約２５０名の参加で行いました。皆様の協力のもと無事に終えることができました。この場をお借りして皆様に御礼申し上げます。

今回も昨年と同様、平日午前９時頃の長崎自動車道における高速バスと大型トラックの衝突による多数の傷病者発生を想定して行いました。当初は重傷者８名、その他20名の想定でした。今回の特徴として、救急隊が実際にトリアージを行いました。その結果、重傷者の数が当初の予定より大幅に増加し、重症エリアに患者が殺到する結果となりました。医療者のやりくりが重要な課題となり軽い混乱も来しましたが、臨機応変に対応できました。

３回目でこのレベルに達した事を評価する声が多かったようです。ただ、実際の災害発生時にはシナリオはありません。今後はさらに訓練の質を向上させて行きたいと考えています。災害医療の佐賀県の拠点病院としての質の向上のため、また、災害時に少しでも多くの被災者の救命に寄与するため、皆様の積極的な参加をお願いします。

連携病院紹介
なかふさ皮膚科クリニック

院長　中房　淳司

〔病院の紹介〕

なかふさ皮膚科クリニックは平成20年４月８日に杵島郡白石町に開業しました。

医療理念として『（１）地域の皆様に喜ばれるクリニックを目指します。（２）皮膚科専門医として最新の医療技術を取り入れ、最良の医療を提供します。』を掲げ、『①一生懸命　②一意専心　③一期一会』を合い言葉にスタッフ一同日々の診療に真剣に取り組んでいます。

月曜日から土曜日まで朝７時45分に朝礼を行い、８時から診療を開始しています。手術は年間４００例程になりますが、診療時間帯には手術ができないため昼休みに行っています。

今後、医師数を増員できればさらに地域に密着した診療を行いたいと考えています。

〔本院との連携〕

診断をつけきれない患者さんや疾患について大変心配されている患者さん、局所麻酔では手術しきれない患者さん、悪性腫瘍の患者さん、入院治療が必要な患者さんなど当院では十分に満足した診療が提供できない場合は佐賀大学病院皮膚科に紹介させていただいております。

また、大学から非常勤の医師を派遣していただいておりますが、異なる視点で診療できることで多くの患者さんに喜ばれています。

「院内緑化推進プロジェクト」
エコロジーガーデンの設置について

経営管理課

本院では、高度で安心、安全な医療を患者さんに提供するという医療の使命と同時に、患者さんへの「癒やし」や「安らぎ」を与える環境の整備にも取り組んでおります。

その取り組みの一つとして、平成21年10月から院内に「エコロジーガーデン」を導入し、院内の緑化プロジェクトを推進しているところです。

この「エコロジーガーデン」の設置につきましては、各企業様からのご協賛金により運営を行っており、今回も多数のご協賛をいただきましたおかげで、継続することができました。

ご賛同いただきました皆様にはこの紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

また、この院内緑化計画及び協賛活動は、今後も引き続き実施していくこととしておりますが、設置内容等の更なる充実を図るためにも、皆様方のなお一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

ご協賛いただきました企業様名（順不同）

一般財団法人栄仁会
株式会社佐電工
株式会社大島産業
株式会社本田設備
三和通信工業株式会社
株式会社パースジャパン
株式会社古川総合印刷
谷口建設株式会社
松屋株式会社
株式会社マベック
株式会社竹中工務店
その他（匿名希望）
ワタキューセイモア株式会社九州支社
西部特機工業株式会社
株式会社やまと
西日本空輪株式会社
ホテルニューオータニ佐賀

GREEN PROJECT

文化コーナー作品（俳句・川柳）募集のお知らせ

本院広報委員会では、俳句・川柳を募集しております。優秀作品は次号の「病院ニュース」に掲載する予定ですので、皆さま奮ってご応募ください。

詳細は外来ロビー・病棟の掲示板、本院ホームページをご覧ください。

【応募締切】　平成 27 年 2 月 13 日（金）

【応募・お問い合わせはこちらまで】

佐賀大学医学部総務課（研究・評価主担当）
TEL　0952（34）3354　　FAX　0952（34）2011
〒849-8501　佐賀市鍋島五丁目１番１号
ホームページ　http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/

▲院内学級の児童生徒による作品